

経皮的心筋焼灼術(6日コース)を受ける患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID: \_\_\_\_\_ 患者氏名: \_\_\_\_\_ さん

経過	入院日 (経皮的心筋焼灼術前日)	入院2日目	入院3日目	経皮的心筋焼灼術当日 (治療前)	経皮的心筋焼灼術当日 (治療後)	5日目 (治療後1病日)	6日目 (退院日)
日付	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )		月 日 ( )	月 日 ( )
目標	治療の内容が理解でき、 検査・治療を受けることができる	治療の内容が理解でき、 検査・治療を受けることができる	治療の内容が理解でき、 検査・治療を受けることができる	予定通りに治療が終了することができる		合併症出現なく経過できる	退院指導の内容がわかる
説明 指導 教育	・医師より治療の説明を行います。 ・看護師が入院生活および治療の説明を行います。 (説明後、承諾書を記入し、提出して下さい)  (医師・看護師の説明でわからないこと、 心配なことがあれば何でもお話し下さい)  ・御希望により、栄養指導・服薬指導が受けられます。	医師・看護師の説明で 分からないことがあれば 何でもお話し下さい	医師・看護師の説明で 分からないことがあれば 何でもお話し下さい	治療中ご家族の方は 病棟でお待ちください。 	・医師から治療結果について説明があります。 ・治療した手首は、強く曲げたり、力を入れたり、 こすったりしないで下さい。 ・下肢の曲げる行動も控え、指示があるまで 水平臥床での安静となります。 ・患者さんが落ち着かれましたら、ご家族の方は 帰宅可能となります。 		・退院指導を行います。 ・医師から検査の経過と今後の 内服などについて説明があり ます。(治療直後に行うこともあり ます) ・退院後の生活で、不安な点が あれば遠慮なくお聞きください。
治療 処置	・身長・体重を測ります。 ・体温・脈拍・血圧を測ります。 ・足背の動脈と大腿の動脈の拍動を観察し印をつけます。 ・手首の動脈(正中・橈骨)の拍動を観察し印をつけます。 ・治療に必要な部位(橈骨または大腿)を必要時除毛します。		・治療前の処置を行います。 (足の付け根の剃毛、入浴)  ・必要時点滴開始します。 ・体温、脈拍、血圧を測ります。	・治療の前に排尿し、 検査着に着替えます。  ・尿道に管を入れます(女性)  ・治療前に点滴を 行うことがあります。	・点滴を継続します。 ・治療後、4回圧迫している空気を2mlずつ抜きます。 ・4回目の空気を抜いた2時間後に 手首に巻いてあるバンドを外します。 ・点滴終了後、針は留置したままとします。	・カテーテルを入れた部位の 消毒を行います。 ・治療翌日に採血と心電図 レントゲンを行います。 ・症状がなければ留置針を 抜去します。 	カテーテルを入れた部位の 消毒を行います。
検査	・採血・胸部X線撮影・心電図の検査を行います。 ・心臓超音波検査、四肢血圧脈波検査を行うこともあります。						
生活 行動	生活に制限はありません。 			ベッドで1階の カテーテル検査室へ行きます。	・治療後はベッド上で安静にして下さい。 ・治療後は、トイレまで歩くことができます。 (足の付け根から行った場合は、6時間後になります) ・手首のバンドを外したら、自由に歩くことができ ます。		
清潔	毛を剃った後、入浴またはシャワー浴ができます。 					傷の状態に異常がなければ 入浴できます。	傷の状態に異常がなければ 入浴できます。
食事	治療食となります。(カロリー・塩分制限) 水分に制限はありません。			・午前治療は朝食が出ません。 ・午後治療は昼食が出ません。	治療後、吐き気がなければ 飲水・食事をすることができます。 		
内服薬	今まで飲んでいた薬を変更することがあります。						退院時内服処方が必要に応じ 出ることがあります。
観察					・カテーテルを入れた所の出血の有無を確認します。 ・止血用のバンドがきつすぎないか確認します。 ・帰室後1時間毎に3回、体温・脈拍・血圧・ 橈骨動脈の拍動の観察を行います。		
その他	治療の状況により、足の付け根の動脈からの 治療になる可能性もあります。 				治療終了後、造影剤を早く排泄するために、 水分(お茶・水)を多めにとりましょう。		
備考							

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。